



## 夏本番になる前に

# エアコン・扇風機の点検をしましょう！

古くなって劣化した扇風機や、エアコンの電源コードの不適切な接続により、毎年多くの発火事故が発生しています。

### 扇風機

次のような症状が出たら、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。

長年ご使用の扇風機は必ず点検をお願いします。



図：一般社団法人日本電機工業会（JEMA）ホームページより

他に、

- 羽根にヒビが入っている
- ガードが変形している
- 電源コードが破損している、折れ曲がっている
- 電源コードを触ると、羽根が回ったり止まったりする

事故の多くは製造から10年以上経っている製品で多く発生しています。

家屋の全焼や死亡事故につながった例もあります。

### エアコン

電源プラグのまわりにほこりが付いていないか確認し、フィルターを掃除した後、冷房モード18℃で30分程度運転し、異常がないか確認してください。

電源コードを他のコードと接続したり、断線部分をビニールテープで補修することは危険ですので絶対にやめてください。エアコンは消費電力が大きいので、延長コードの使用も危険です。

次のような症状が出たら、すぐに使用を中止し、購入先かメーカーに相談してください。

- 電源コードやプラグが異常に熱い
- 電源プラグが変色している
- 焦げ臭いにおいがする
- ブレーカーが頻繁に落ちる
- 異音がする
- 室内機から水漏れがする



図：政府広報オンラインより

エアコン洗剤を誤って電気部品周辺に吹き付けると、電気部品に洗剤が入り込み、ショートを起こして故障・発火する場合があります。エアコン洗剤を使う際は、使用説明をよく読んで適切に使用してください。